

サイド バイ サイド

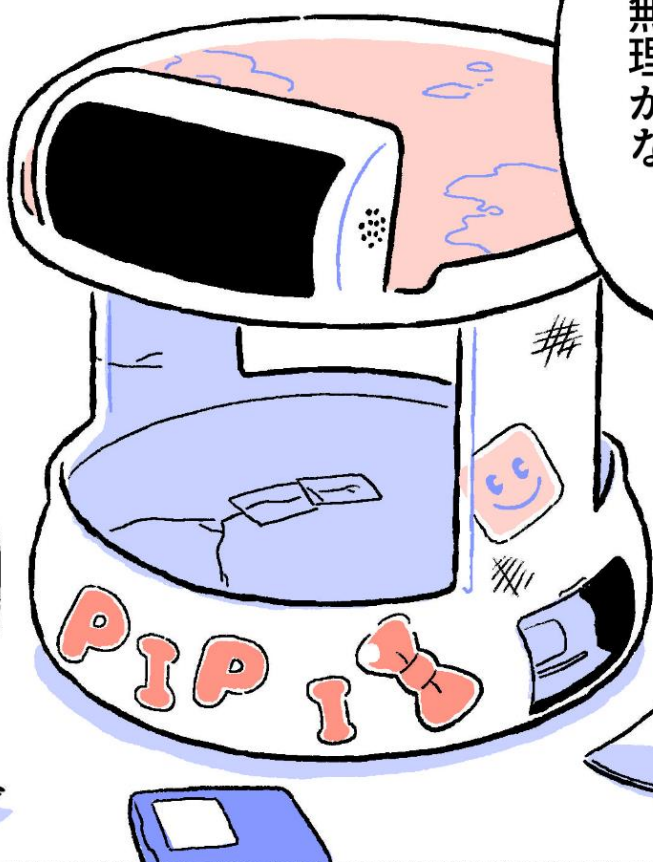


昨日
ピピが
動かなくなつた

うーん…

バッテリー変えて
これじゃ
もう無理かな

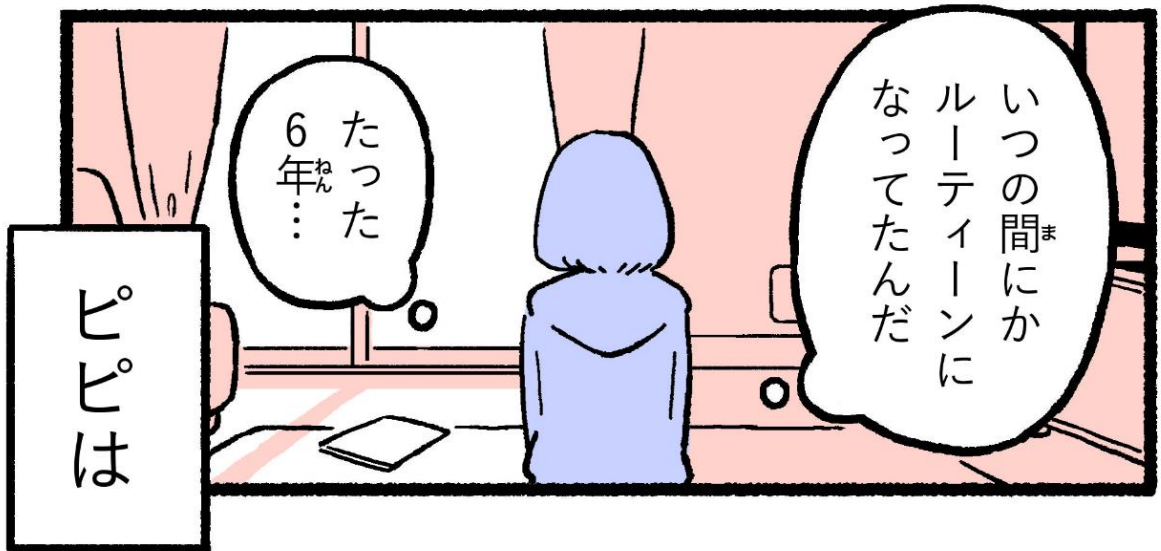
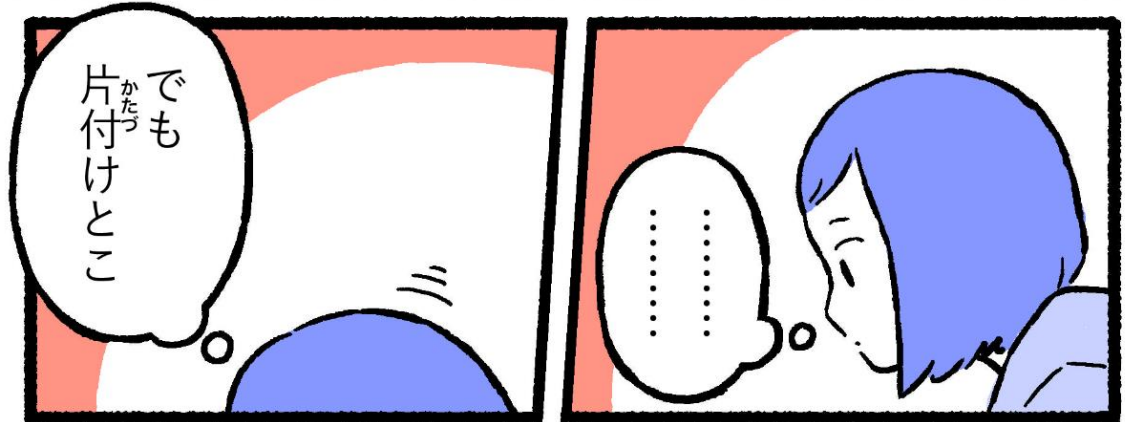
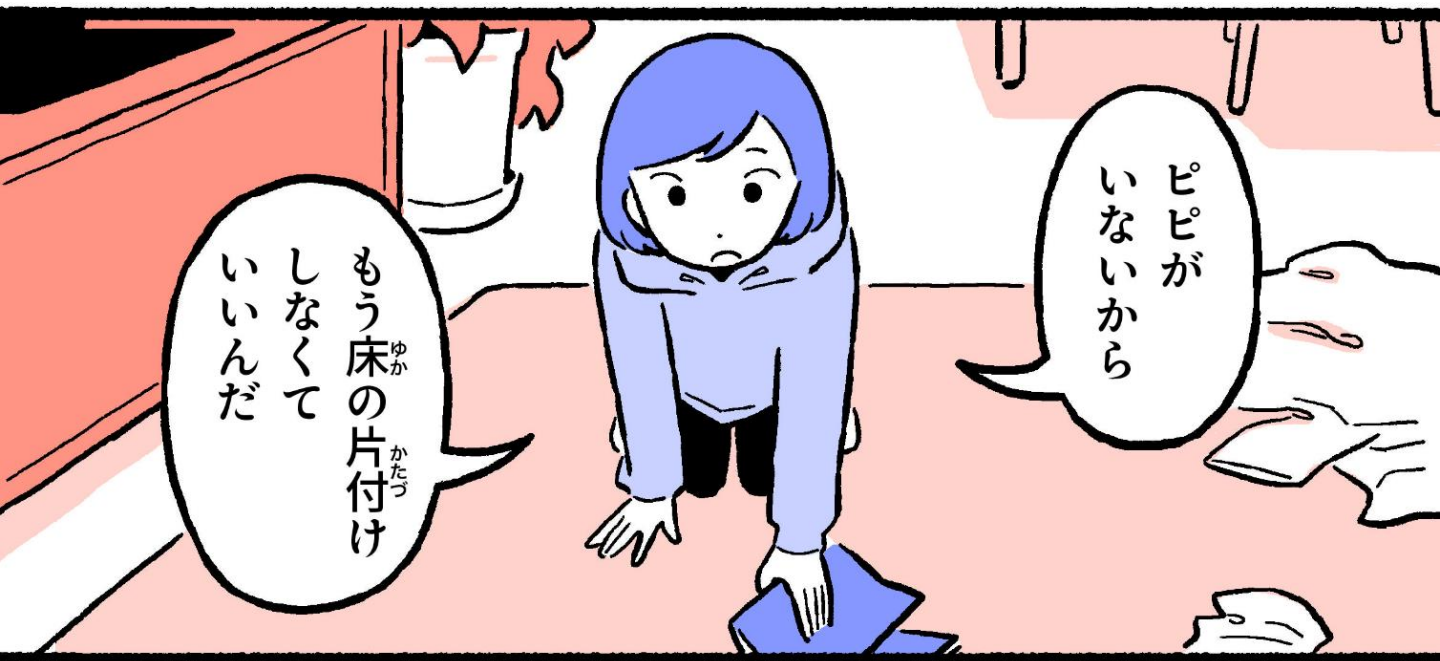
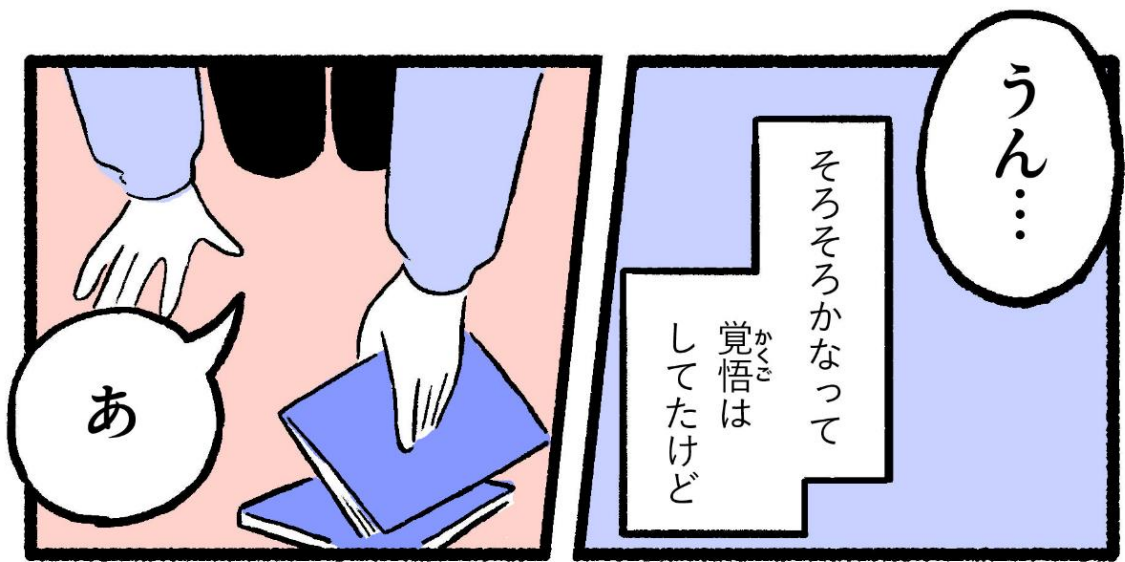
そうだね

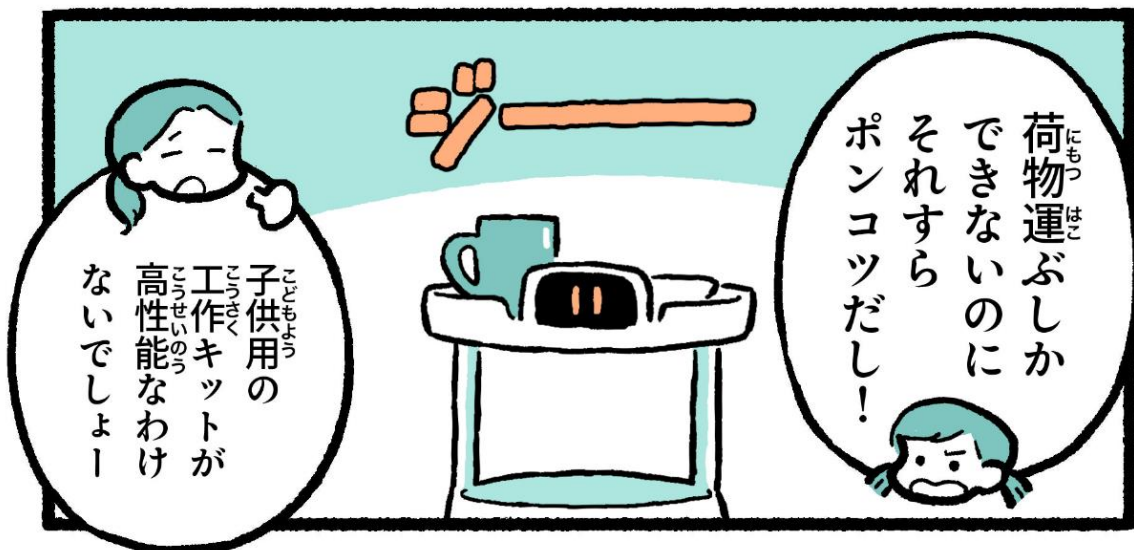
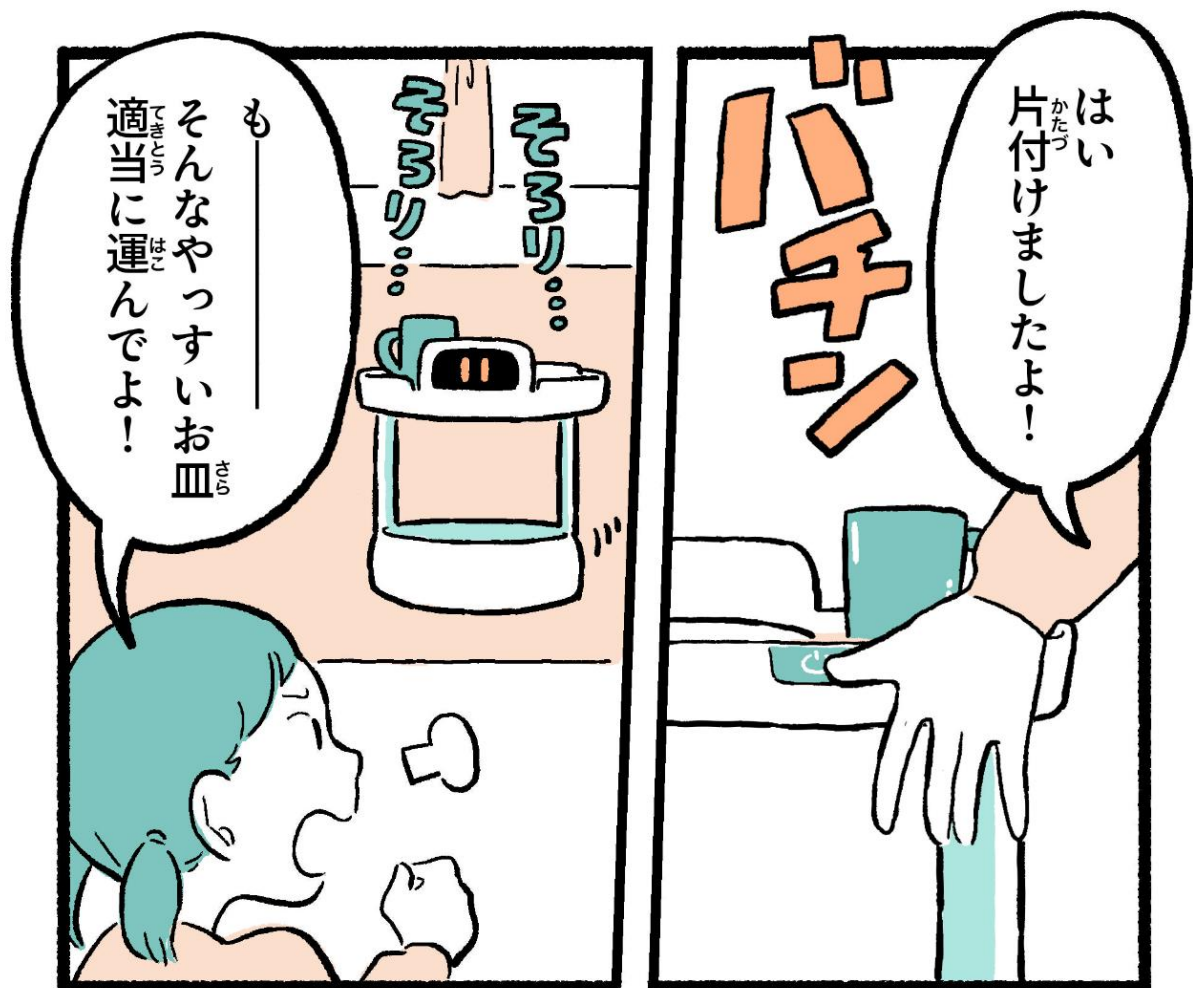


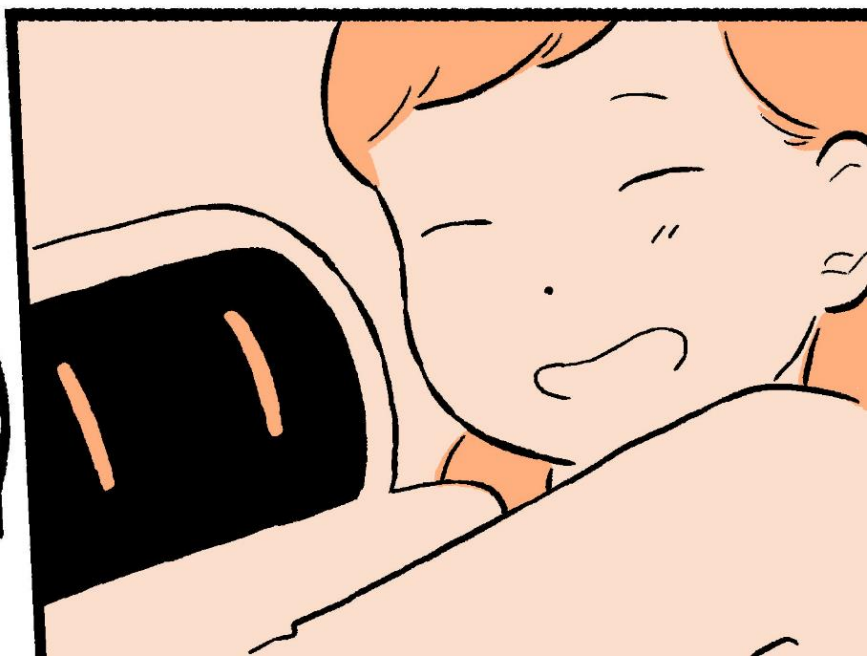
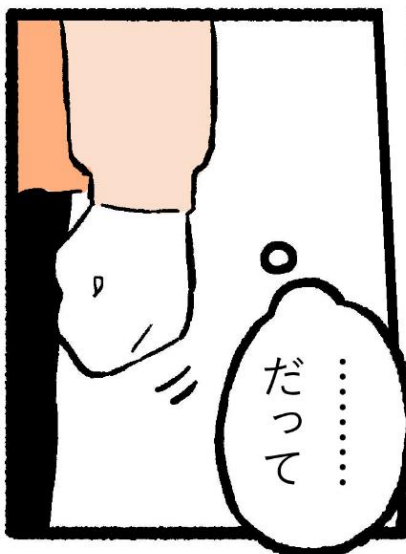
うちに来て
もう6年だもん

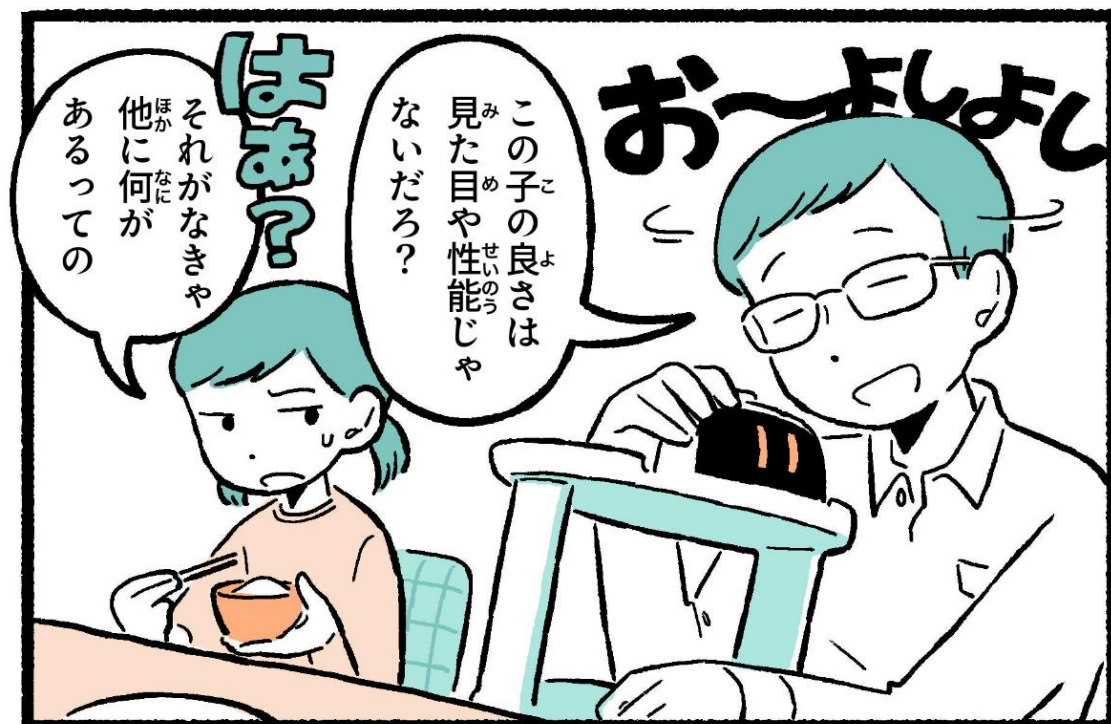
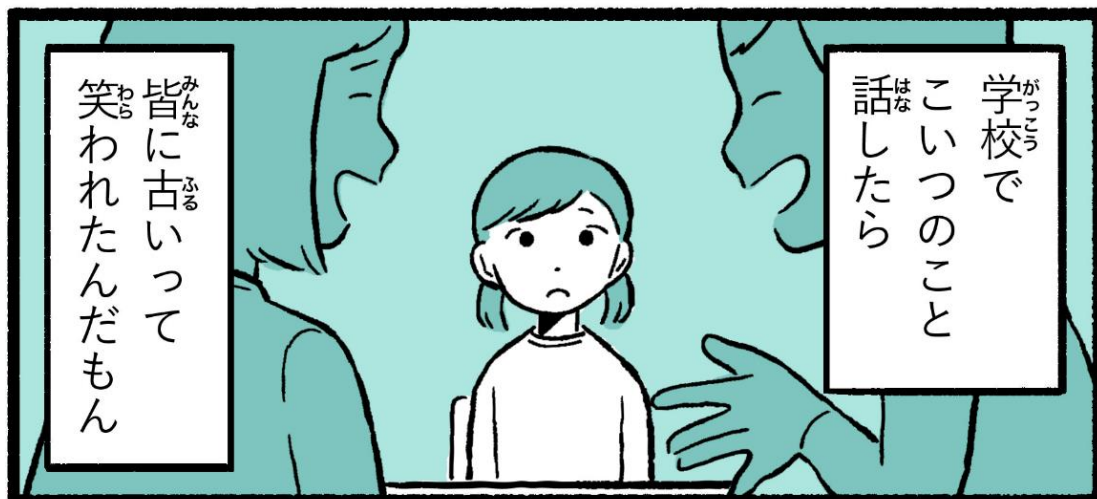
頑張つて
くれたよねえ

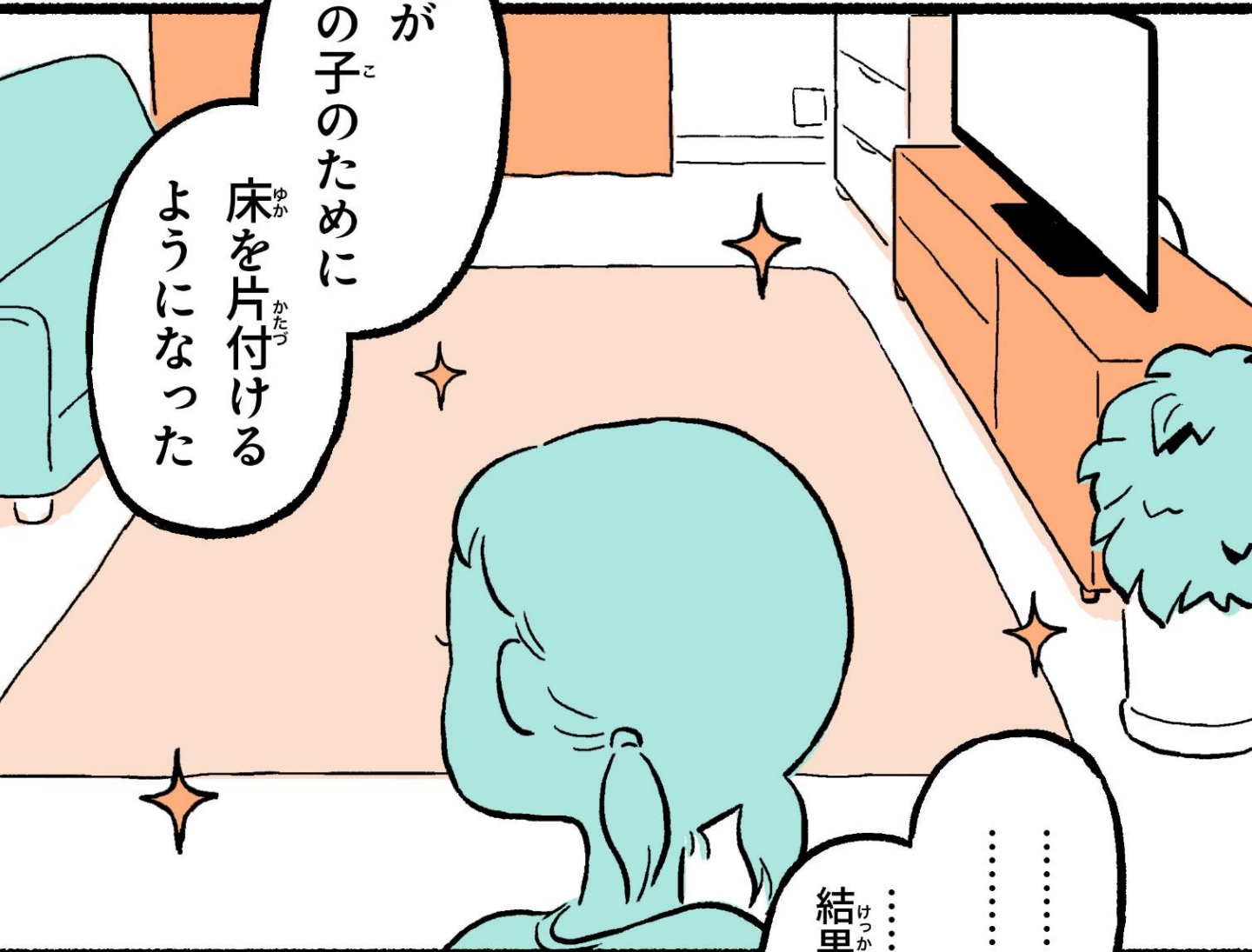
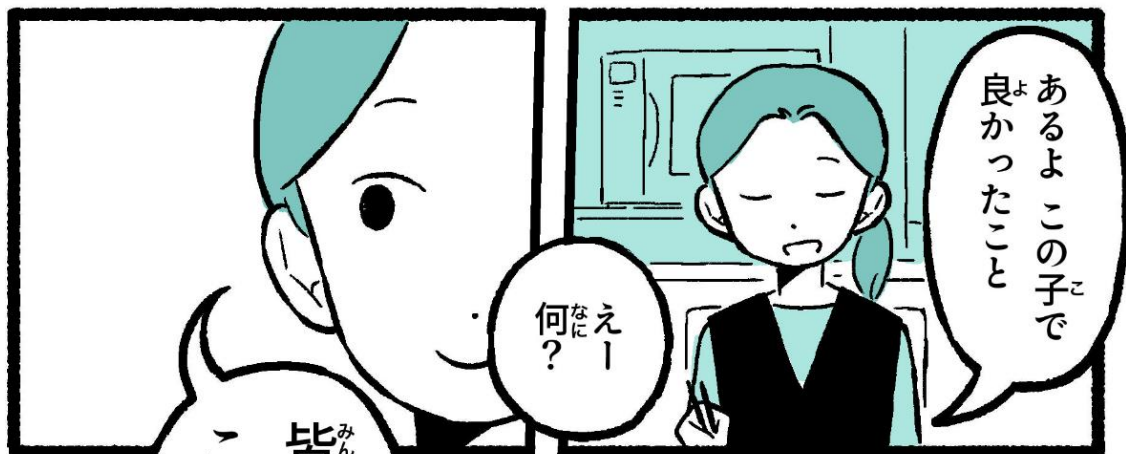


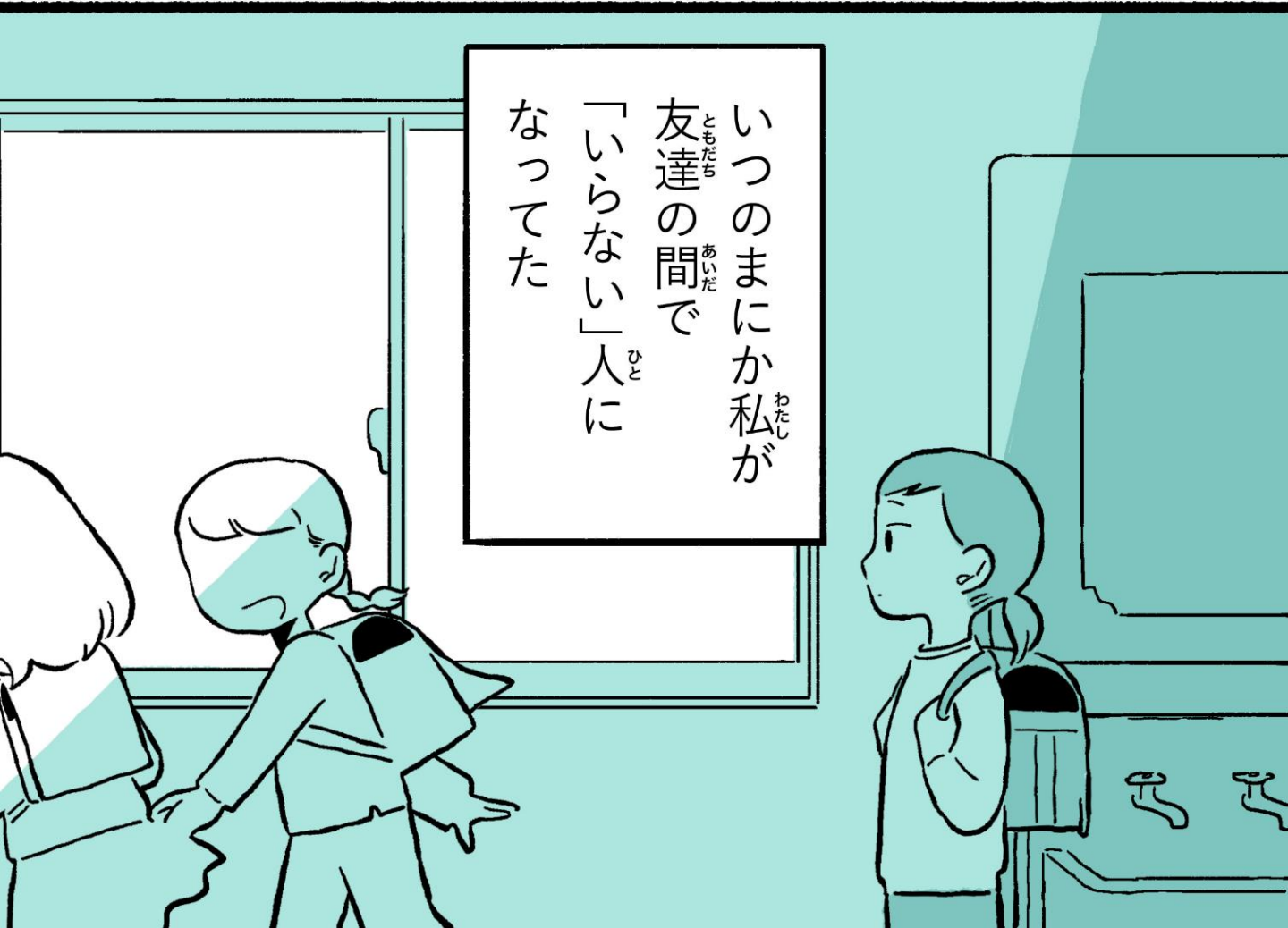
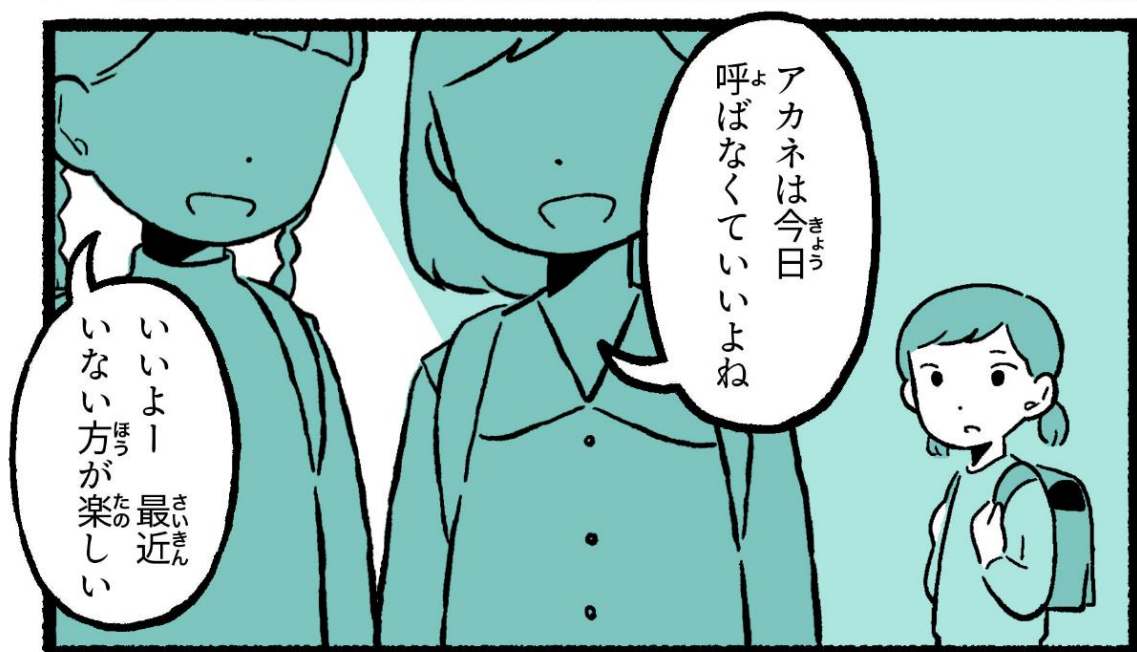


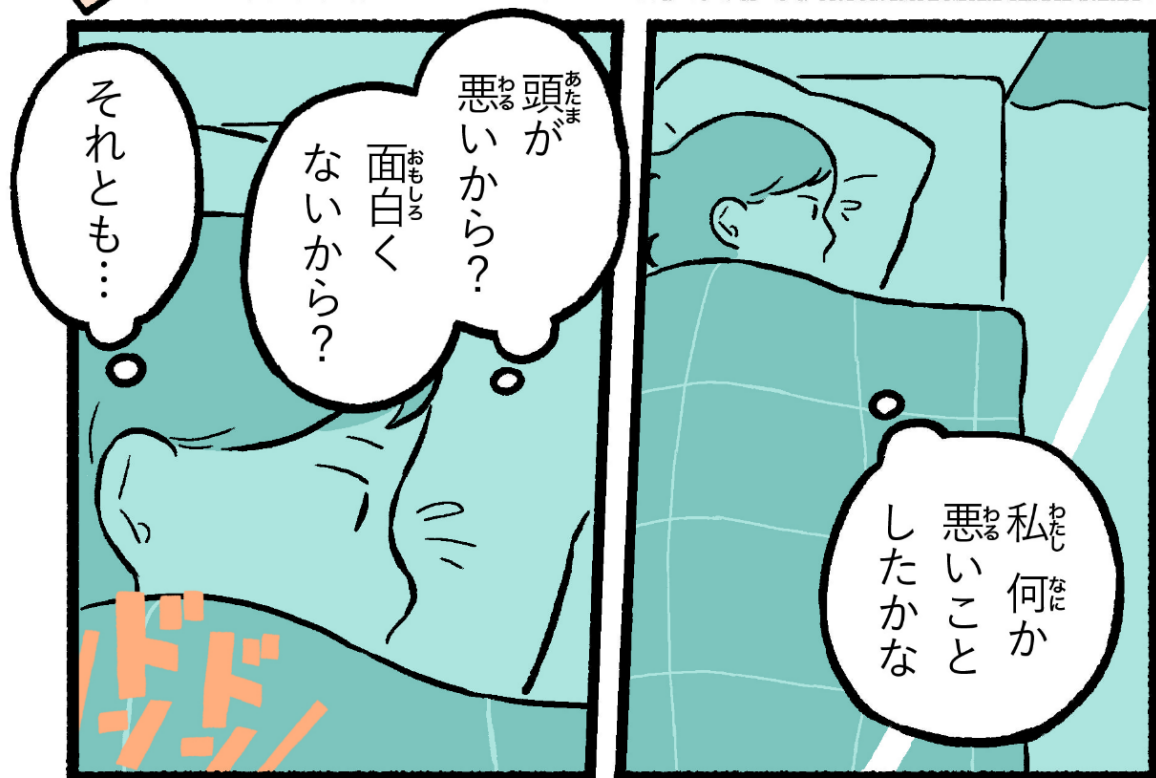
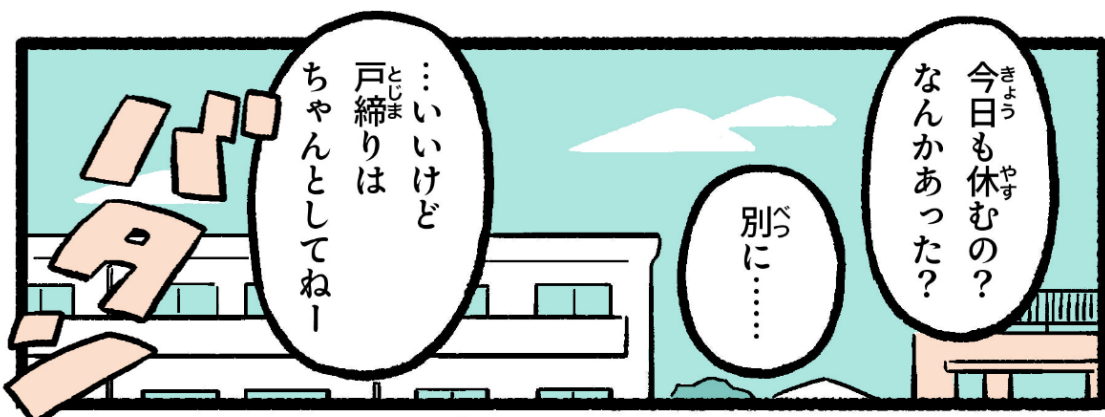


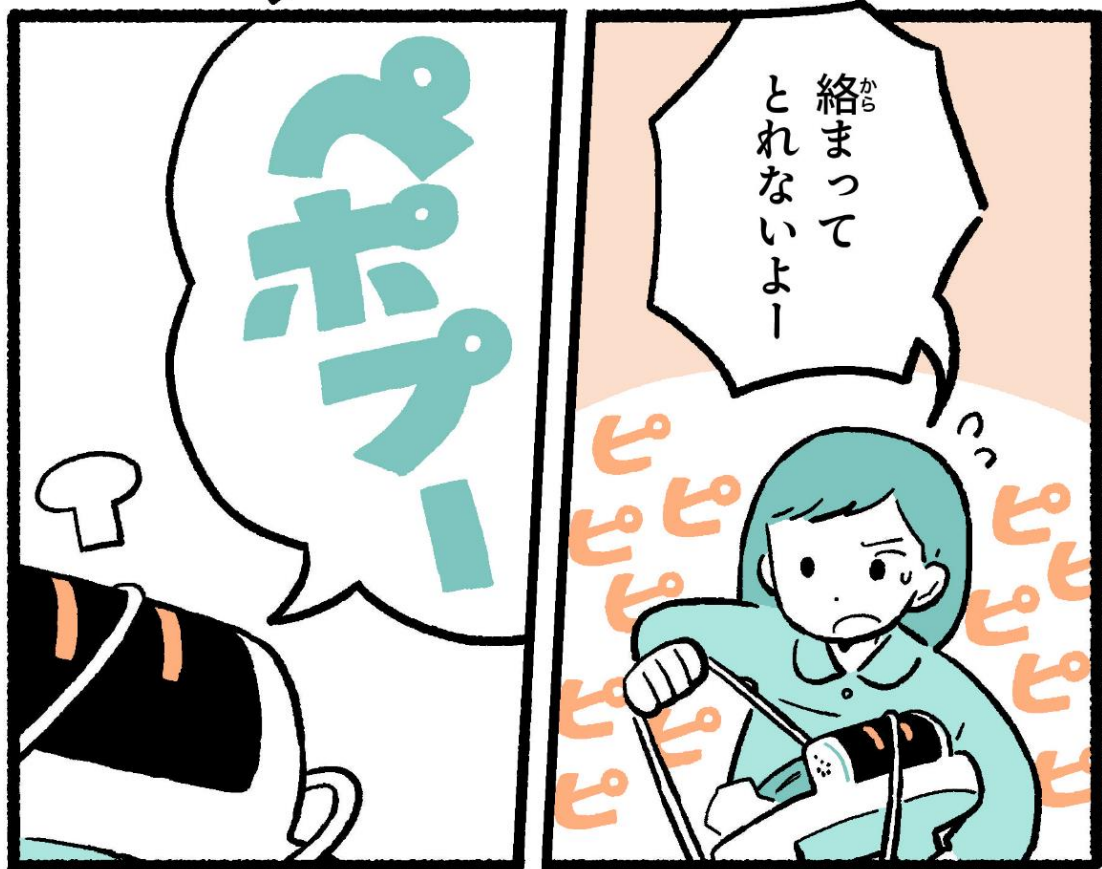
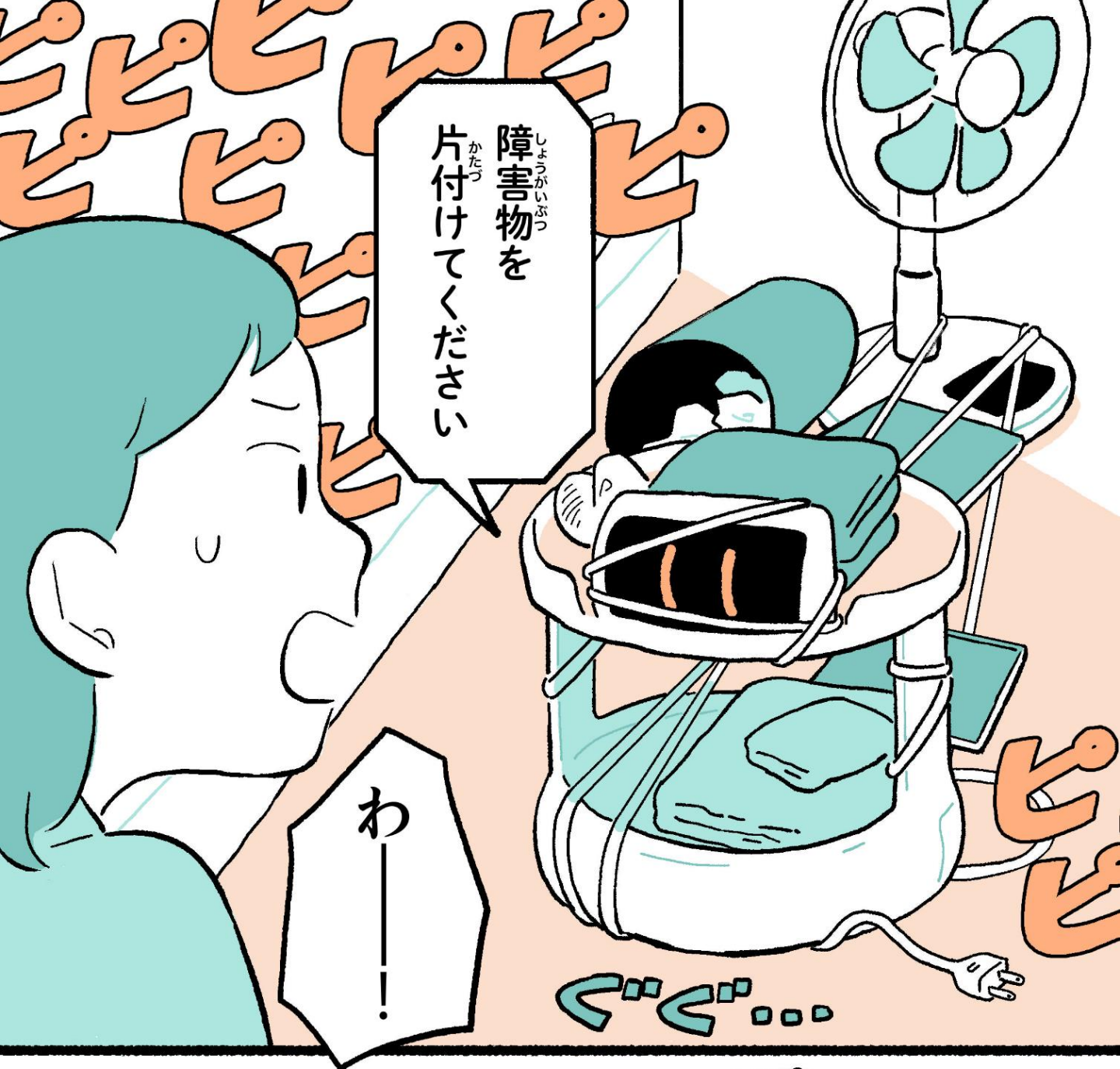


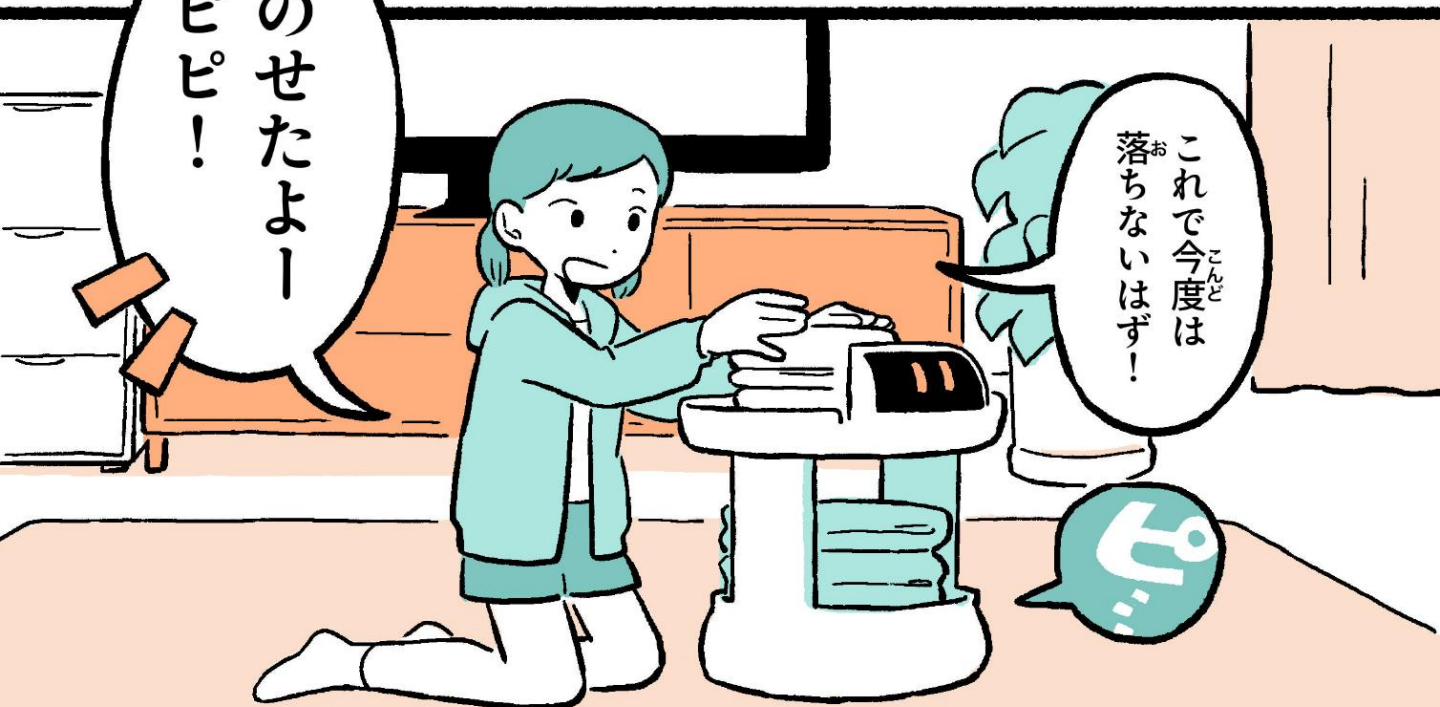
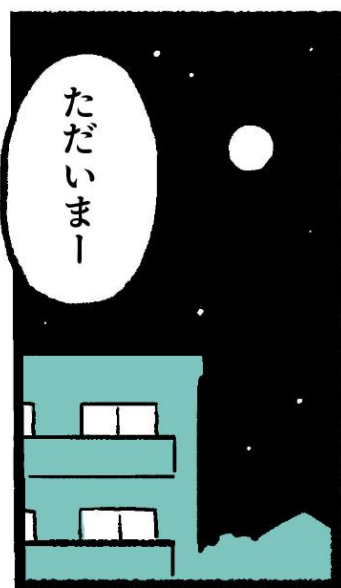
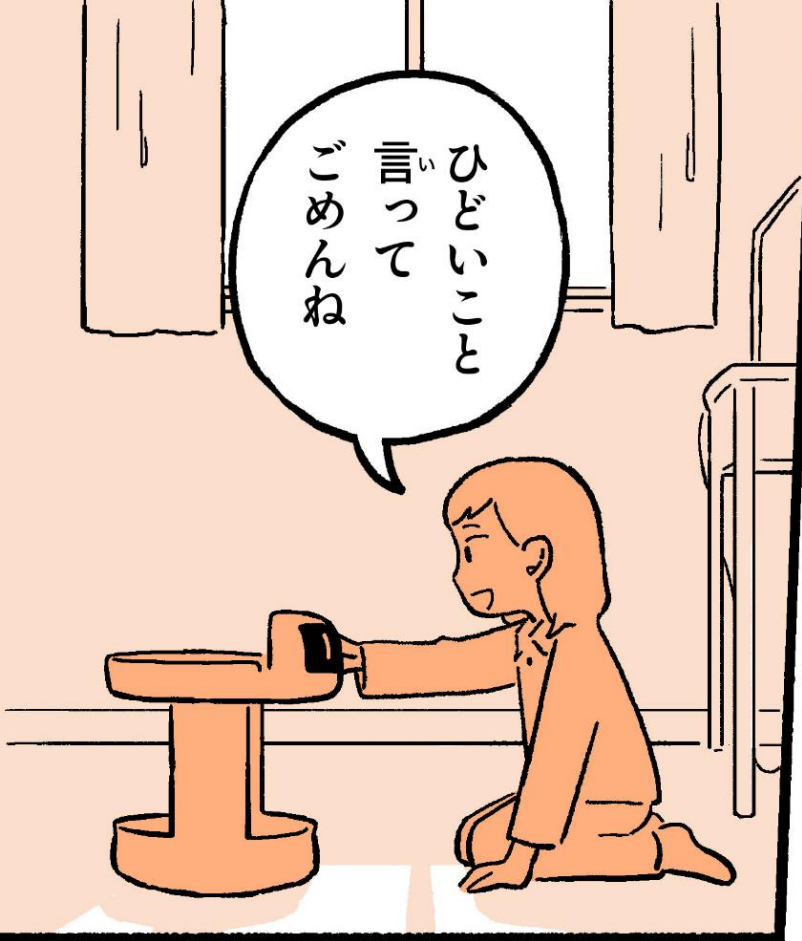














リサイクルに
出しちゃって
本当にいいの？

ロボット葬の
サービスも
いっぱいあるよ

いいの

どこかで
生まれ変わる方が
ピピもうれしいと
思うから



そう？

アカネってさ
変わったよね

……

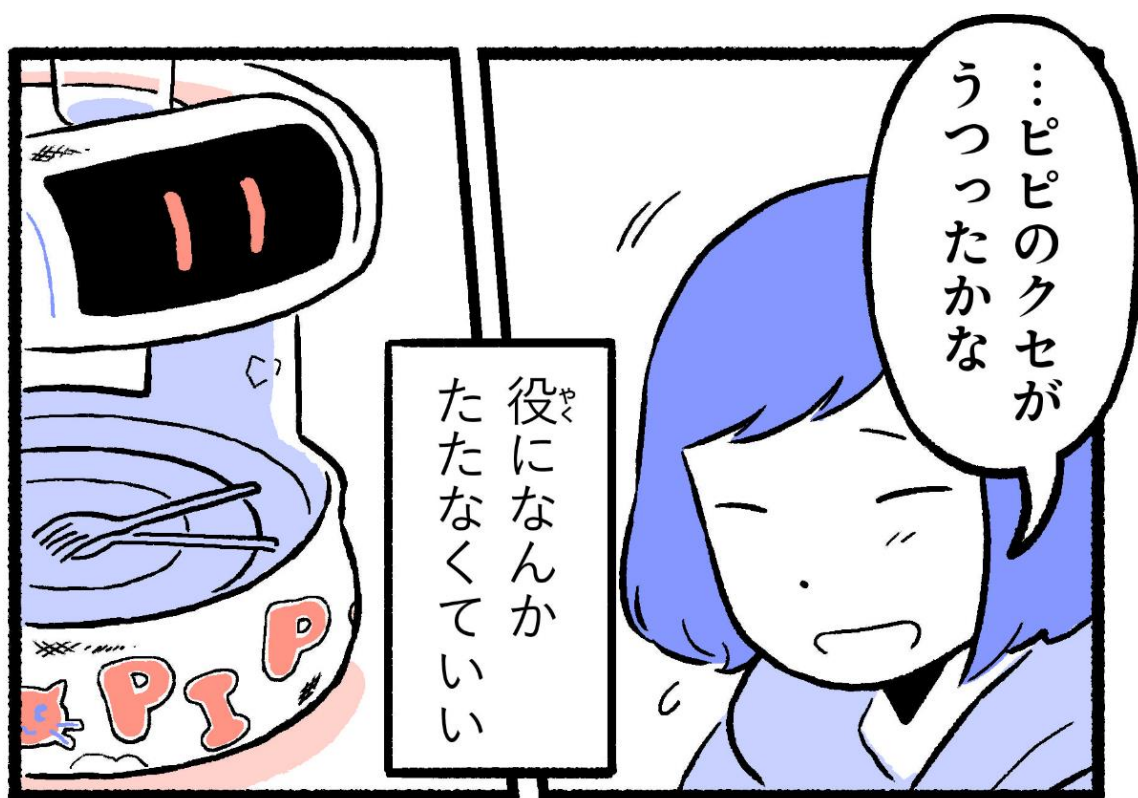


あいて
相手のこと
すごく考える
ようになった

ピピの
おかげかな

さ 今日からは
自分で
運ばないとね

そろり..
そろ..
ととと
そんなやつすいお皿
適当に運んでよー!



私^{わたし}の世界^{せかい}は
変^かわったんだよ

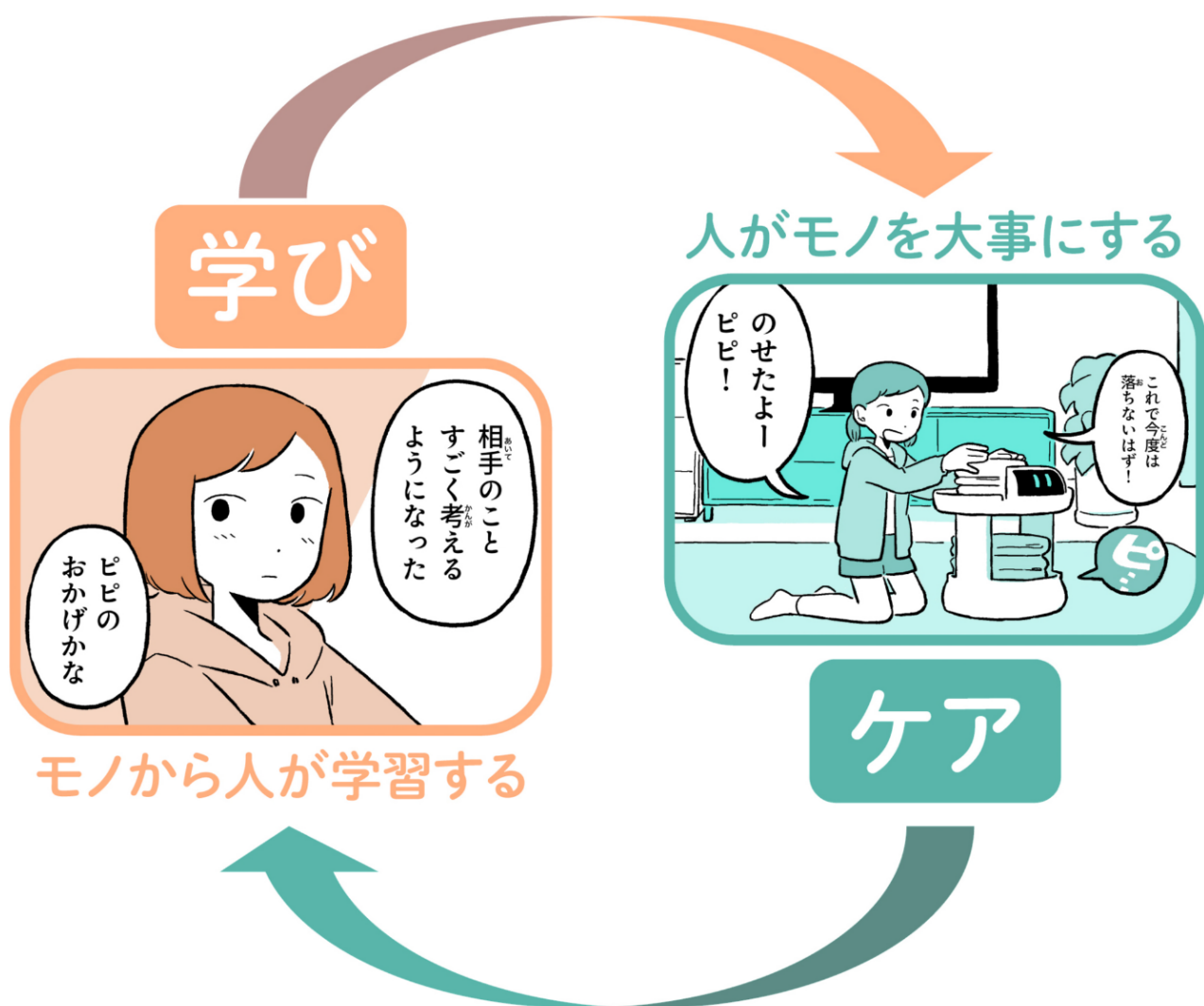


ただあんたが
一^{いっしょ}緒にいるだけで



解説

まんが
漫画『サイド・バイ・サイド』は
ロボットをはじめとする、モノと人との関わりの研究から
アイデアを得て描かれています。



モノと人との関わりのことを
ヒューマン オブジェクト インタラクション
Human-Object Interaction (HOI) といい、
「ケア」と「学び」の2つの側面があります。

モノと人との関わりの研究から「**ケア**」と「**学び**」の2つが
整うことで、モノとの一体感、より広い自然環境^{かんきよう}への意識^{いしき}、
人生の満足度へとつながることが明らかになっています。

日本では元々、モノに命を見出し共生するという自然観が
文化の基本^{きほん}にあるといわれています。例えば、茶道では
モノと丁寧^{ていねい}に向き合うことが自己研鑽^{じこけんさん}につながるといった
考え方があります。



モノであるロボットが身近に進出してくる未来、
人が主でありモノが従という分断された関係だけでなく、
モノと人がつながり合い影響し合う共生の関係で考えて
みることも、よりよい技術との付き合い方を探る上で重要
となってくるでしょう。

解説：上出寛子（名古屋大学）



モノと人の共進化を考える
Human-Object Interaction研究